



六華の心

酒田市立第六中学校
学校だより 第3号
校長 齋藤 啓悦
令和2年4月22日

入学おめでとう！ 新入生125名が仲間入り



【入学式「式辞」】（一部抜粋）



125名の新入生の皆さん、入学おめでとう。入学にあたり、皆さんの二つのことをお話しします。

一つ目は、身につけてほしい「心」です。

酒田六中は今年で創立36年目を迎えました。六中には創立当時から大切にしている六つの心があります。これを「六華の心」と言います。ステージに向かって右側の壁に掲げてあり、入学のしおりにも書いてあります。これから何度も聞く言葉です。

これは中学生にとってだけでなく、大人になっても大切な心、つまり、人として大切な心です。それは次の六つの心です。

「思いやりの心」「学ぶ心」「耐える心」「奉仕の心」「感謝の心」「素直な心」の六つです。

皆さんにはどんな心がありますか。すでに六つの心が備わっている人もいれば一つの人もいるかも知れません。もちろんこれ以外にも大切な心はたくさんあります。

中学生は3年間で体も体の働きも大きく成長します。それだけでなく、学校生活を通してたくさんのかたを学び、経験して、心も成長させてほしいと願っています。

そして、卒業するときには、六つの心、六華の心が身につく、それが自然と行動に表れる人になってほしいと思います。

今は様々な活動が制限され、がまんしなければならないことも多いです。今は、六華の心でいうと「耐える心」が必要です。みんなが協力し合い、この困難を乗り越えていきましょう。

二つ目は、この3年間で「自信を持てること」を身につけてほしいということです。

中学生は、小学生以上に自分からやりたいことができるようになります。ただ、自分の力がどれくらいかは誰にもわかりません。何かをやる前から「どうせ自分にはできない」「無理に決まっている」と決めつけるのではなく、いろんなことにチャレンジして、今の力を伸ばし、新しい力を引き出してほしいと思います。そして「自信の持てること」を何か一つでもいいので身につけてほしいと思います。失敗してもいいのです。失敗も含め、様々な体験や経験を通して成長していくのが中学生の時期なのです。

目標に向かって一生懸命に頑張る皆さんを、皆さんの家族はもちろん、地域の人、そして先輩も先生方もみんなで応援していきます。一緒に頑張ってください。

続いて保護者の皆さんに申し上げます。

お子様のご入学、誠にありがとうございます。入学式の開催が遅れ、また、卒業式に続いて制限された形となり、お子様にもご家族の皆様にもたいへんつらい思いをさせております。昨今の状況を踏まえ、ご理解くださるようお願いいたします。

さて、中学校3年間は、過ぎてしまえばあっという間です。小学校以上に一日一日の成長が早く感じられます。喜ぶ時もあれば心配な時もあるかと思えます。

子どもの成長のためには、子どもたち自身の力が必要なのは言うまでもありませんが、周りにいる多くの大人の手も必要です。少しずつ手をかけることは減っていきますが、目を離さず、見守ってほしいと思います。



お子様が中学校を卒業するときの立派に成長した15歳の姿を想像し、ご家庭と地域と、そして学校が一体となって支えていきたいと思えます。今後のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

最後に、今日入学式に出席できなかった多くの皆さんの思いも込め、新入生のこれからのたくましい成長を願い、式辞といたします。

令和2年4月20日 酒田市立第六中学校 校長 齋藤啓悦